

モニターレポート(1月報告)

【報告内容①】

12月は例年よりも早く雪が積もり、積雪の量も多かったのですが、1月7日にはほとんど雪はなくなっていました。泰平橋の左岸側の所が雪捨て場になっていて、道路や土手には積雪がないのですが、雪捨て場には2m以上の雪が残っていました。

松浜在住の方の話だと、阿賀野川大橋と泰平橋は、松浜橋とは違い、防風対策がされていない橋なので、冬場は路面が凍結しやすく、横風も直に受けるので注意しないとイケないと言っていました。

〈事務所からのコメント〉

12月の早い時期にたくさん雪が積もり、今冬はどうなるかと思いましたが、1月に入り、雪が降ることはあっても多く積もるということはなかったので安心しているところです。

ご報告いただいたとおり、冬場の橋は路面が凍結しやすく、大変危険です。道路管理者の方でも、凍結しないようにいろいろ対策はしていると思いますが、橋だけに限らず、冬場の運転には十分気をつけていただきたいと思います。

【報告内容③】

佐取から満願寺まで観察していて、違和感が感じられていたが、それは河川敷に野鳥の姿や声が見られないことでした。見られるのは、ハシブトガラスやトビと、中州等に休んでいる白鳥だけです。

〈事務所からのコメント〉

この時期になるとみられるものとして、白鳥などの鳥類があります。特に白鳥は河川敷の中州や田んぼなどに多く集まっており、その姿が冬の象徴となっています。

これからしばらくはまだ寒さが続くと思われます。体調を崩さないよう注意していただき、モニター活動をお願いいたします。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容②】

水辺プラザの入り口の広場の所に雪がいっぱい山になっていました。除雪の捨て場になっているようです。また、この地区のさいの神が行われたと見られ、焼け跡が残っていました。

雪も溶けて、まるで春先！堤防のあちらこちらでふきのとうを探している人たちがいっぱいでした。

〈事務所からのコメント〉

河川敷の雪捨て場には、多くの雪が積まれております。これは、自治体からの申請に基づき、雪捨て場として許可しているものです。ただし、雪捨て場地点の過去の冬場(12月～3月)の最高水位と雪捨て場の高さを比較して、治水上の影響がないことを確認しています。

雪のない法面などでは、ふきのとうを探している人たちがおられるとのご報告も頂きました。一步一步ではありますが、春は近づいてきている感じがあります。

※複数のモニター報告を要約してあります。